



	勘定科目			勘定科目	勘定科目		
	27年度	28年度	差額		27年度	28年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費		2,785	行政収入	地方税		0
	物件費		22		国庫支出金		0
	維持補修費		0		都支出金		0
	扶助費		0		分担金及び負担金		0
	補助費等		0		使用料及び手数料		0
	減価償却費		0		その他		0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)		0
	賞与・退職給与引当金繰入額		130		行政収支差額(a)-(b)=(c)		2,937
	その他行政費用		0		金融収支差額(d)		0
	行政費用合計(b)		2,937		通常収支差額(c)+(d)=(e)		2,937
特別費用(g)		0	特別収入(f)		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	当期収支差額(e)+(h)		2,937		
備考							

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
標	交通事故件数	400	352	333	300	300	
	のうち自転車関与事故件数	187	167	148	120	120	
	交通安全啓発事業参加者(人/年)	1,868	3,622	3,101	6,160	4,000	自転車講習会、シミュレータ安全教室、保護者向け教室等

問題点・課題	地域が一丸となって新たに策定した第10次荒川区交通安全計画に基づき施策を展開していく。
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)

問題点・課題の改善策			
	平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
	年2回(春と秋)協議会を開催 第10次荒川区交通安全計画の策定	年2回(春と秋)協議会を開催。第10次荒川区交通安全計画に基づく施策を推進した。	年2回(春と秋)協議会を開催。 第10次荒川区交通安全計画に基づく施策の推進

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
推進	推進	交通安全に関する総合的施策を協議し、効果的に交通安全運動を推進するため、重要な協議会である。

議(要旨)況	
--------	--



	勘定科目			差額	勘定科目			差額
	27年度	28年度			27年度	28年度		
行政コスト計算書	行政費用				行政収入			
	給与関係費		402		地方税		0	
	物件費		0		国庫支出金		0	
	維持補修費		0		都支出金		0	
	扶助費		0		分担金及び負担金		0	
	補助費等		3,920		使用料及び手数料		0	
	減価償却費		0		その他		0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)		0	
	賞与・退職給与引当金繰入額		19		行政収支差額(a)-(b)=(c)		4,341	
	その他行政費用		0		金融収支差額(d)		0	
行政費用合計(b)		4,341		通常収支差額(c)+(d)=(e)		4,341		
特別費用(g)		0		特別収入(f)		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0		当期収支差額(e)+(h)		4,341		
備考								

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
標	交通安全運動参加者(人/年)	3,080	2,660	2,597	3,200	3,500	交通安全協会会員数

問題点・課題	交通安全協会の会員数の増加、協会体制の強化。
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)

問題点・課題の改善策		
平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
各警察署と連携し、交通安全協会の交通安全啓発活動が交通安全の推進に寄与するよう支援していく。	春と秋の交通安全運動期間に各警察署と連携し、交通安全のつどいや交通安全フェスティバルなどの交通安全啓発イベントを実施した。	警視庁及び各警察署と連携し、交通安全協会の交通安全啓発活動が、交通安全の推進に寄与するよう支援していく。
高齢者が交通事故に関与する率が高いことから事故防止を強化していくよう支援していく。	春と秋の交通安全運動期間に交通安全啓発物品を配布するなど、交通安全運動を支援した。	児童保護者や高齢者が交通事故に関与する率が高いことから、事故防止を強化していくよう支援していく。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
推進	推進	交通安全協会は、地域に根ざした交通安全啓発活動の中心的役割を果たしており、今後益々の活動が望まれる。

況議(要質問状)	
----------	--

# 事務事業分析シート（平成29年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-06-05	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	交通安全啓発		部課名	区民生活部生活安全課	課長名	諸角	
			担当者名	今田	内線	489	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（29年度）	01-19-03	交通安全啓発費					
事務事業の種類	新規事業（29年度 28年度）		建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	37年度	根拠	道路交通法、東京都自転車安全利用条例		
終期設定	有	無	年度	法令等			
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	安全安心都市					
	政策	11	防災・防犯のまちづくり				
	施策	05	交通安全対策の推進				
目的	区内における交通事故の防止						
対象者等	区民						
内容	<p>スクアード・ストレート方式の交通安全教室                      区内三警察署との連携により、スタントマンにより交通事故を再現する交通安全教室を実施（年2回）                      自転車シミュレーターを使った交通安全教育（平成24年度～）                      子どもから高齢者まで幅広い年代に対応した、体験型の交通安全教室を行う。                      自転車安全利用講習会                      毎月第三土曜日に荒川自然公園の交通園において、小学校4年生以上を対象に講習会を開催するほか、区内三警察署の協力を得て、随時小学校の校庭等で講習会を実施する。                      交通安全啓発用品の配布                      春と秋の交通安全運動を始め、日頃より交通安全啓発活動を行っている町会等の団体に対し、円滑な啓発活動が実施できるよう啓発用品等の配布を行う。                      その他啓発活動</p>						
経過	平成24年度に、自転車シミュレーターを都内区市町村として初めて導入した。						
必要性	交通事故の防止には、交通管理者と道路管理者との連携が不可欠である。						
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 区内三警察署等との連携により実施する。また、「スクアードストレイト」の一部について、民間企業に業務委託（約1,600千円）						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
予算額	4,886	6,974	5,424	4,692	5,492	5,366	5,364	
決算額（29年度は見込み）	4,332	5,851	4,685	4,273	4,534	4,369	5,364	
実績の推移	事項名（29年度は見込み）	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	自転車安全利用講習会（回数）	30	33	27	34	30	31	33
	自転車安全利用講習会（参加者数）	1,001	1,280	994	1,304	1,032	1,147	1,350

予算・決算の内訳								
平成27年度（決算）			平成28年度（決算）			平成29年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	つどい報償費	149	需用費	啓発用品購入費	3,033	報償費	つどい報償費	150
需用費	啓発用品購入費	3,143	役務費	つどい出演料	150	需用費	啓発用品購入費	3,373
委託料	自転車安全利用講習会	1,241	委託料	自転車安全利用講習委託	1,018	役務費	懸垂幕掲示	39
			使用料等	つどい会場使用料	168	委託料	自転車安全利用講習委託	1,631
						使用料等	つどい会場使用料	171

	勘定科目			勘定科目	勘定科目		
	27年度	28年度	差額		27年度	28年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費		6,668	行政収入	地方税		0
	物件費		4,369		国庫支出金		0
	維持補修費		0		都支出金		0
	扶助費		0		分担金及び負担金		0
	補助費等		0		使用料及び手数料		0
	減価償却費		315		その他		0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)		0
	賞与・退職給与引当金繰入額		311		行政収支差額(a)-(b)=(c)		11,663
	その他行政費用		0		金融収支差額(d)		0
	行政費用合計(b)		11,663		通常収支差額(c)+(d)=(e)		11,663
特別費用(g)		0	特別収入(f)		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	当期収支差額(e)+(h)		11,663		
備考							

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
標	自転車シミュレーターを使った交通安全教育実施回数	8	9	5	15	15	
	自転車安全利用講習会実施回数	34	30	31	33	33	
	の参加人数	1,304	1,032	1,147	1,350	1,400	

問題点・課題	正しい交通ルールを習得するため、各種事業への参加者をいかに増やしていくかが課題である。
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)

問題点・課題の改善策			
	平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
	高齢者・子どもの交通事故防止について各種イベントで実効性のある対策を講じる。	警視庁と連携し、交通安全のイベントを行った。	交通安全イベント等の機会を通じて、事故防止の取組を推進していく。
	高齢者の交通事故防止、特に自転車による交通事故の防止を推進する。	自転車安全利用講習会等を活用し、運転ルールやマナーの取得に取り組んだ。	児童保護者や高齢者の交通事故防止PR活動の強化、特に自転車による交通事故の防止を推進していく。
	更に、警察署や関係機関と連携を深める。	各警察署と連携し、交通安全の各種イベントを行った。また、事故現場の検証を関係機関と行った。	更に、各警察署や関係機関と連携を深める。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
推進	推進	区内三警察署や関係機関との連携により、自転車関与事故の減少をめざす。自転車利用者の交通ルールの順守・マナーの向上について呼びかけていく。

議(要質問)況	平成25年第3回定例会 平成26年第1回定例会 平成26年第1回定例会 平成27年2月会議 平成28年11月会議	自転車マナーキャンペーンについて 自転車走行の整備について 自転車保険及びオートライトの普及について サイクルポリスの導入について 高齢者の交通事故防止対策について
---------	--	--



	勘定科目			勘定科目	勘定科目		
	27年度	28年度	差額		27年度	28年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費		897	行政収入	地方税		0
	物件費		73		国庫支出金		0
	維持補修費		0		都支出金		0
	扶助費		0		分担金及び負担金		0
	補助費等		0		使用料及び手数料		0
	減価償却費		0		その他		0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)		0
	賞与・退職給与引当金繰入額		42		行政収支差額(a)-(b)=(c)		1,012
	その他行政費用		0		金融収支差額(d)		0
	行政費用合計(b)		1,012		通常収支差額(c)+(d)=(e)		1,012
特別費用(g)		0	特別収入(f)		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	当期収支差額(e)+(h)		1,012		
備考							

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
標	荷さばき駐車場設置箇所	18	15	15	15	15	荷さばき駐車場設置箇所

問題点・課題	区施設の新設や改築時に荷さばき駐車場の設置を積極的に進める。また、現在の利用状況を勘案し、適地の検討をする。
他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)

問題点・課題の改善策		
平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>更なる区施設への設置の検討及び適地の検討</li> <li>荷さばき可能な民間駐車場の案内方法等の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに建設される施設への設置について、具体的な調整を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区施設への設置の検討及び適地の検討</li> <li>荷さばき可能な民間駐車場の案内方法等の検討</li> </ul>

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
継続	継続	区施設への更なる設置を目指していく。

議(要)質問(状)	平成18年1定 駐車違反の取締り強化と道路管理者としての荷さばきスペースの確保について
-----------	---





	勘定科目			勘定科目	勘定科目			
	27年度	28年度	差額		27年度	28年度	差額	
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費		6,643	行政収入	地方税		0
		物件費		0		国庫支出金		289
		維持補修費		23,382		都支出金		0
		扶助費		0		分担金及び負担金		0
		補助費等		0		使用料及び手数料		0
		減価償却費		0		その他		0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)		289
		賞与・退職給与引当金繰入額		336		行政収支差額(a)-(b)=(c)		33,809
		その他行政費用		3,737		金融収支差額(d)		0
		行政費用合計(b)		34,098		通常収支差額(c)+(d)=(e)		33,809
特別費用(g)		0	特別収入(f)		0			
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	当期収支差額(e)+(h)		33,809			
備考	行政費用では、維持補修費が最も多く、その内訳として交通安全施設整備22,178千円、原材料費1,204千円となっている。							

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
標	すべり止め舗装面積(m <sup>2</sup> )	184	247	188	400	700	施工実績
	区画線標示延長(m)	3,300	2,811	4,161	3,740	3,600	施工実績
	通学路標示面積(m <sup>2</sup> )	648	565	444	675	500	施工実績

問題点・課題	すべり止め舗装や区画線等の標示状況に関しては、巡回等により経年劣化が著しい箇所の把握に努めているが、それ以外にも地元や警察、教育委員会からの設置等の要望が多数寄せられている。荒川区の交通事故発生件数は、23区の中で一番少ないが自転車事故関与率は23区の中で一番高い。そのため警察、生活安全課と協力し、生活道路での交通安全施設の整備方法を検討していく必要がある。信号機のLED化に伴い、地点名標識が取り外されたままになっている主要交差点が数多く存在している。オリンピック・パラリンピック対策としても道案内が不足している交差点への標識設置、また、既存の標識についても対訳ルールに則した英語表示の標識への交換が求められている。
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)

問題点・課題の改善策			
	平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
	事故の履歴だけでなく、危機管理意識を持ち、交通事故の発生を未然に防ぐための整備をより進めて行く。	危機管理意識を持ち、交通事故の発生を未然に防ぐための整備をより進めた。	事故の履歴だけでなく、危機管理意識を持ち、交通事故の発生を未然に防ぐための整備をより進めて行く。
	警察や生活安全課と連携し、より安価で効果的な整備方法を検討する。	警察や生活安全課と連携し、より安価で効果的な整備方法を検討し、整備を進めた。	警察や生活安全課と連携し、より安価で効果的な整備方法を検討する。
	区内重要施設の周辺や交通量の多い交差点への設置を実施していく。28年度は南千住地域に限定して先行実施する。	南千住地域の交差点4箇所に地点名標示板を整備した。	主要地点名標識設置のほか、道路標識の整備について設計委託を実施する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
継続	推進	区民の交通安全を確保するために必要な事業である。

議(要)質(問)状	平成25年1定 通学路における交通安全対策の早期実施について
-----------	--------------------------------